

第4回社叢インストラクター資格認定試験問題

筆記試験Ⅰ【10:00～11:00】：下記のうち1題を選択し、1,500字程度で記述（課題は事前に提示）配点＝100

1. 社叢においても、土壌調査の重要性が指摘できる。社叢と土壌、土壌調査で注目すべき事項について説明しなさい。
2. 四手井綱英氏の「宮の森の維持、保存の意義」（事前に配布）の論述の中で、氏が指摘した宮の森の維持、保存の意義を、簡単に記し（300字程度）、氏の論述に対して、あなたが思ったことを1,200字程度で述べなさい。

筆記試験Ⅱ【11:10～12:10】（問題4は事前に配布）配点＝100

問題1 配点20点 以下の文章を読み、選択肢の中から最も適切と思われる語句に○をつけなさい。

- I 1) (A：奈良時代 B：平安時代前期 C：平安時代中期 D：平安時代後期)に編さんされた『延喜式』には、およそ2) (A：1,000 B：2,000 C：3,000 D：4,000)の神社(神数)が記載されており、それらのなかには現在のどの神社にあたるのかに議論のあるものがあるが、その多くは今に式内社として古い社格を誇っている。
- II 神社の成立時期はその多くが不明であるが、京都の伏見稲荷大社(稲荷神社)と松尾大社(松尾神社)はその成立が分かっており、それは3) (A：5世紀初頭ころ B：6世紀後半ころ C：7世紀中期ころ D：8世紀初頭ころ)のことであった。またその創立者は朝鮮半島からの渡来系氏族の4) (A：秦氏 B：漢氏 C：高麗氏 D：紀氏)であり、この両神社が広い国際的環境のもとで成立したことがよく分かる。

問題2 配点30点 下記の用語を簡単に説明しなさい。

- 1) 拡大造林と再造林 2) 天然更新 3) 胸高断面積合計 4) 葉(着葉)量、葉面積指数
- 5) 暖かさの指数(温量指数)

問題3 配点20点 社叢は、保全や育成をはかる上でいろいろな問題点等を抱えています。次のような社叢の問題に対して、あなたは専門的知識・技術などを持つ社叢学会員としてどのように対応することがよいと思いますか。1つだけ選んで数字に○をつけなさい。また、4)については、思うところを簡潔に記述しなさい(200字程度)。

前提：市街地内に残された貴重な社叢で、1haの面積。このため、特別緑地保全地区、風致地区、保安林、保存樹林等の指定を受けている。

- 1) 森林にはナラ枯れが散見される
 1. ナラ枯れの樹木を速やかに消毒して、周辺への影響をできるだけ阻止するよう関係者に働きかける
 2. 神社関係者の意向を聞き、また、役所の規制担当部署とも協議して木の伐採等の対策を立て、関係者と協力して対策を実施する
 3. まず何よりも被害木を伐採するよう神社関係者に働きかけ、伐採後現地で焼却する
 4. ナラ枯れも自然の成り行きだから放置して様子を見る
- 2) 神社関係者が痛んだ林をサクラの園地や駐車場に変える計画を進めている
 1. 市街地の社叢は公共性が高いので、役所、周辺自治会等と意見交換し、合意形成出来る土地利用を考えるように神社関係者に再考を提案する
 2. サクラだと見どころが春だけになるので、いろいろな花木、草花を植えての名所づくりを神社関係者に提案する
 3. 傷んだ林は皆伐し、地拵えをして、サクラの園地や駐車場でなく、元の樹林の植生に従いその復元を図るように神社関係者に提案する
 4. 規制を受けた森林であるので、伐採等の現状変更はやめて自然に任せるように神社関係者に提案する
- 3) 森の一部に献木された木、記念植樹の木がある
 1. 森の植生を自然に戻すほうが良いので、関係者の了解を得ていずれ伐採し、潜在自然植生の樹木に植え変える
 2. 記念樹などは保育の責任もあるので、しっかりと造園業者等に剪定、養生等の管理をしてもらう
 3. 神社、社叢の歴史を残し、地域の記憶を残すことになるので、大切に扱うが、特別に管理費を多くかけてまでは対応しない
 4. あくまで森の一部として扱い、特別視せずに管理も特に行わない
- 4) 上記のような社叢があなたの家の近くにあるとしたら、あなたは、この社叢を保存し良好に育成していくために、具体的にどのような活動に取り組むのがよいと思いますか(200字程度)。

問題4 配点30点 自由に使用できる10×10mの裸地がある。多少の凹凸はあっても、傾斜角度を気にするほどのことはない。周囲は開けていて日照時間もよく、適量の降水量もあって特別心配する必要はない。今、この土地に20年ぐらいかけて森を造ろうと思う。

この地域の植生を調べて、次のような樹種と草本が適しているというデータを得た。もちろん、すべての樹種や草種を使う必要はないし、また、出発点より徐々に植え付け苗を増やしていけば、空き地を利用して植え付ける苗づくりも可能である。

次にあげる植物の中から、出来上がった時点での森の構成を考えて、第1回目に植栽する樹木には「黒鉛筆」、第2回目の植栽は「赤鉛筆」、第3回目にも植栽を考える場合は「青鉛筆」で植栽箇所を表し、20年目の森を想像して完成図を描きなさい。

本地域で調べた森の構成種(順不同)：カゴノキ、イヌシデ、ナナミノキ、サカキ、ヤマザクラ、クスノキ、アラカシ、アカメガシワ、シラカシ、テイカカズラ、イチイガシ、シイノキ、ヤブニッケイ、ヒノキ、ヤブツバキ、モミ、アリドオシ、イヌマキ、シキミ、ナツツタ、ヤブラン、ベニシダ、スギ、ジャノヒゲ(ナガバジャノヒゲ、カブタチジャノヒゲを含む)、ムクノキ、アカマツ、キヅタ、ツクバネガシ、カゴノキ、シュロ、イヌツゲ